

ノンアンカーRC壁接着工法

ノンアンカーRC壁接着工法は、RC壁増設による耐震補強工法のひとつで、従来のあと施工アンカーによる間接接合部分をシアー筋付鋼板をエポキシにより接着接合します。



主な特長

1. 振動・騒音・粉塵がほとんど発生しません。

あと施工アンカーの設置がないため、それに伴う振動・騒音・粉塵が発生しません。

2. ノンアンカーRC壁接着工法はほとんどの建築物に、適用が可能です。

従来工法では、あと施工アンカーがあるため、SRC構造や配筋が密な構造物では、施工が困難ですが、接着工法ではRC壁補強の適用が可能です。

3. 信頼性の高い補強設計と施工体制

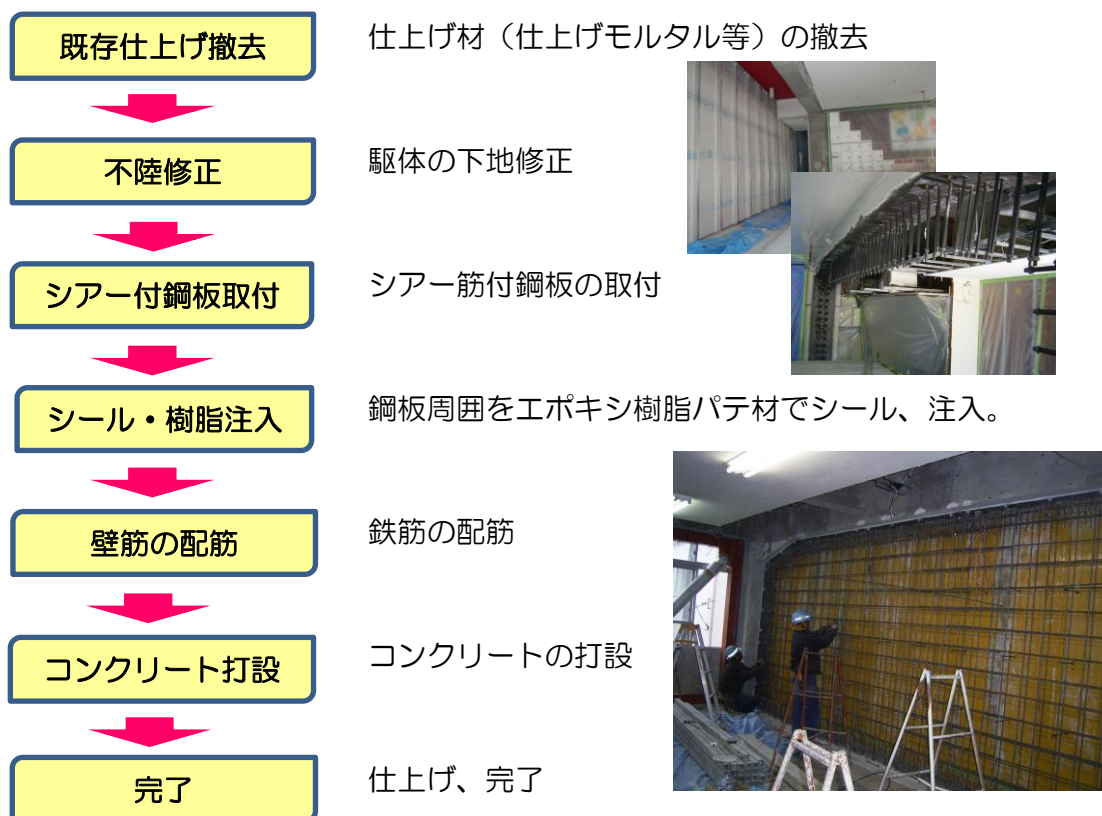
本接着工法は、（財）日本建築防災協会の技術評価（建防災発第2204号）を受けており、この評価内容で補強設計がなされれば、十分な耐震性が認められています。また、接着工法の施工管理体制も整えております。

4. 施工実績

施工は100件以上の実績あります。

施工方法

ノンアンカーRC壁接着工法の施工手順は、以下の通りです。



使用材料

ノンアンカーRC壁接着工法では、主に下記の材料を使用します。

- シール材 ボンドE2370M
- 注入材 ボンドE2300T

お問い合わせ

ノンアンカーRC壁接着工法は、（株）竹中工務店より技術供与を受けており、（財）日本建築防災協会の技術評価（建防災発第2204号）を取得しております。ボンドエンジニアリング（株）では、施工並びに補強設計支援を行います。ノンアンカーRC壁接着工法のお問合せは、弊社各支店、営業所までお願いします。